

1

学年

3観点に即した改善プラン

- ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等
③学びに向かう力・人間性等

	最も課題のある観点	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業における具体的な手立て	年度末評価(2月)
国語	②思考力・判断力・表現力	学習の単元やその時間における目標を先に提示し、見通しをもって学習に取り組ませる。また、テクストに対する深い理解を促す発問を行うとともに、個人での思考の時間と話し合いの時間を分割して設け、生徒一人一人の考えを深め、広げる活動を実施する。	
数学	②思考力・判断力・表現力	思考・判断・表現の能力向上のために、基本的な内容の習得を重点に置き、問題演習等を計画的に取り組んでいく。また、考え方を共有するために、グループワークやICTを活用し考え方を共有することで幅を広げていくことを目指す。	
英語	②思考力・判断力・表現力	目的や場面・状況を明確に設定し、思考を伴う言語活動を行うことで、生徒が自ら判断し、適切な表現を選択して伝える力を高める。	
社会	②思考力・判断力・表現力等	歴史的分野・地理的分野ともに、単元を見通した問い合わせを設定する。生徒の学びが深まるように、適切な支援を行っていく。そのために必要な進度や躊躇の見取りを充実させるために、生徒の主体性が発揮される場面や教師や生徒同士、また教材との対話が起こる場面を授業内で効果的に設定する。	
理科	②思考力・判断力・表現力	実験結果より、考察を一つ一つ多角的に考え、班で共有し、班で考える中で、実験技術とともに理論的内容・想像力を深める。また、失敗した結果の中から、その理由を考察していく。	
音楽	②思考力・判断力・表現力	音楽を鑑賞して感じた印象をより豊かに表現できるよう、音楽の要素や用語の習得の支援を行う。また、ICT機器を活用して、仲間と情報共有しながら、語彙力と表現力を高める。	
美術	②思考力・判断力・表現力	発想力について、個別の指導を重点的に行いながら、自己と向き合い粘り強く取り組む力を持って作品に生かせるように促していく。	
保健体育	②思考力・判断力・表現力等	男女共習の授業を行い、そのよさを意識して授業を充実させる。また、習熟度別や体格など種目によって様々なグループを作成し、話し合い活動を充実させていく。ICT機器や学習カードを活用し、振り返りの時間をつくり、話し合い活動の場を意図的に設ける。	
技術家庭	技術②思考力・判断力・表現力等 家庭③学びに向かう力・人間性等	木工製作では、生活の中にある課題を発見し、解決する製品を考え設計・製作する。また作業を自分で考えて選択したり、改良・改善を行ったりすることで、問題解決能力を育む。 布を用いた小物の制作では、ICT機器を活用し手本動画を見るなどして自ら学びに向かう姿勢を育む。また4人一組の班で情報共有するなどして、対話的な学びで意見や考えを共有し、学びを深める。	